

【 .指標による評価】

評価	理由等	平均評価
達成	創業支援や企業誘致を推進するとともに、農林水産業や商工業・サービス業等の振興を図ることにより魅力ある仕事を創出し、目標を達成できた。	達成

【 .施策に対する意見・提言】

<p>第6回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H29.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業産出額が九州最下位になっている(H27)。伸びている分野、伸びている人をもっと大事にし、今まで以上に手厚く支援していく必要がある。 ・IoTの分野において、中小企業、小規模事業者全体の底上げを図ることが大事だが、なかなか日々の業務に追われて取り組むことができていない。 ・大企業では3年以内にIoT化が進むと言われており、3年後には更に格差が広がる。 <p>第4回「大分県働き方改革推進会議」(H29.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業は働き方改革に取り組む余裕がなく、経営者はどう取り組めばよいかも分からない。企業の規模、業種等状況に合わせたきめ細かな指導が必要。働き方改革を試行錯誤しながら進めていくうえで、単発のコンサルティングではなく定期的な指導助言をしてほしい。 	<p>第7回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H29.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の経済団体として、また企業が今後海外展開する上で、留学生OBが世界百数十カ国に渡っていることは大分にとって宝であり、今後海外展開する企業は連携を強化するべき。 ・大分県は観光にも非常に力を入れていて観光客数はかなり高水準だが、残念ながら1人あたりの観光消費額は非常に少ない。やはり観光消費を上げる一番は、夜のイベント、ナイトライフを増やして宿泊数を増やすということが重要。もう一泊したいというような気持ちをつくっていくことが大事。 <p>第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県の観光では、インバウンドは増えているが国内のお客さんが減っているという現状である。情報発信が弱く、特に関東への情報発信がまだまだ少ないのではないかという話も聞くので、大分の各地の魅力を面として捉えたいという事で更なる情報発信をしていただきたい。
--	---

【 .推進上の課題と今後の展開について】

<p>本県の人口移動を見ると、依然転出超過が続いており、その大部分は20～24歳の若年層で、転出先は、福岡県や東京圏などの都市部に集中している。このような人口流出をくい止めるためには、農林水産業や商工業、サービス業、観光・ツーリズムなど、様々な分野で魅力ある仕事をつくり、仕事人が人を呼び、人が仕事を呼ぶ好循環を創出していく必要がある。</p> <p>今後の展開については、農林水産業では、就農学校やおおいた林業アカデミー、漁業学校などでの人材確保・育成、雇用労働力の調整機能を担う労働力確保戦略センターの2拠点化に取り組むとともに、ICT等を活用した匠の技術の見える化などスマート農林水産業を推進するほか、園芸品目への機械化一貫体系の導入や畜産業での作業外部化など業務省力化を進めていく。</p> <p>また、大分県版第4次産業革命“OITA4.0”の牽引役となるドローンやITなど、新たな分野の企業誘致や人材の確保・育成に取り組むとともに、シニア世代の潜在求職者の掘り起こしや、UIターン就職希望者に対するきめ細かい支援、働き方改革の実践サポート等による企業支援に取り組む。</p> <p>観光・ツーリズムにおいては、県域版DMOにおいて、観光データの収集・分析等による国内外への効果的な情報発信・誘客や魅力的なコンテンツ開発等を行うとともに、観光客の満足度向上のため、域内事業者の育成・支援を行う。また、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたアジア・欧米への情報発信等、対象国に応じた旅行商品造成、多言語コールセンターやおもてなし研修など受入態勢の整備を行い、付加価値向上の取り組みを加速し、観光誘客による県経済への波及効果を高めていく。</p>
